

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平成31年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
太宰府市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太宰府市における公共交通の現況把握、課題整理 ・市民アンケート調査 ・バス利用者聞き取りアンケート調査 ・コミュニティバス利用状況調査 ・太宰府市地域公共交通網形成計画のとりまとめ <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎データ等により、太宰府市における公共交通の現況を整理した。 ・市民の公共交通の利用状況、公共交通に対する評価及び意向を把握した。 ・バス利用者の利用状況、バスに対する評価及び意向を把握した。 ・コミュニティバス各路線の利用状況(利用者数)把握に向けて、今後調査を実施する。 ・各種調査結果をもとに、課題を整理した。 ・今後、調査結果を分析し、太宰府市地域公共交通網形成計画案を作成の上協議会で検討し、計画の策定を行う。 	A	<p>太宰府市地域公共交通網形成計画の策定に向けて</p> <p>上位・関連計画との整合、特に現在策定中である太宰府市立地適正化計画との整合を図りながら策定を行う。立地適正化計画における都市機能誘導区域や居住誘導区域の設定を踏まえ、拠点やエリアをより効率的・効果的に結ぶためのネットワークの役割を公共交通が担うこととする。</p> <p>公共交通によるネットワークはまちづくりと連携したものである。地域特性を踏まえ、コミュニティバスについて基幹路線、支線の位置づけを行い、より効率的・効果的な運行に向けて再編することで、市民にとって利用しやすいものとする。さらに、公共交通の利用促進により、まちの活性化を図る。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、上位・関連計画のまちづくりと連携した地域公共交通網形成計画を策定し、地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
福津市地域交通体系協議会	<p>【事業の結果概要】</p> <p>下記の調査及び作業を基に、現状の課題から地域公共交通のあり方に係る方向性を整理し、福津市地域交通体系協議会において、基本方針(案)について設定し、策定(案)の協議を行った。</p> <p>(1)地域の現況把握 既存資料を基に、地域特性や公共交通の現状を把握・分析した。</p> <p>(2)将来のまちづくりの方向性と公共交通のかかわりの整理 第2次福津市都市計画マスタープラン並びに本市の各種計画と公共交通の関係及び公共交通に求められる役割について整理し、把握し、まちづくりと公共交通の関連した方向性を整理した。</p> <p>(3)市民等の移動実態及びニーズの把握 第2次福津市総合計画や第2次福津市都市計画マスタープラン策定に向けて実施した公共交通機関の利用に関する市民アンケート結果の整理や自治会やシニアクラブ、コミュニティバス車内を通じて利用者に対してアンケートを実施し、公共交通の利用状況及び利用意向等を把握した。</p> <p>(4)福津市における公共交通の問題点・課題の整理及び今後の方向性の整理 上記各項目を踏まえ、市の公共交通に関する問題点・課題を整理した。</p> <p>(5)福津市地域公共交通網形成計画(案)の策定 整理した公共交通の問題点・課題に基づき、基本方針等について、福津市地域交通体系協議会(全3回)で協議し、計画案をとりまとめた。</p>	A	<p>本事業で得られた公共交通の課題に対し、基本的方針、目標及び実施施策を整理し、福津市地域公共交通網形成計画を策定する予定である(今後パブリックコメントを実施し、その後策定予定である)。</p> <p>【福津市の交通将来像の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道及び路線バスを公共交通の基軸として、コミュニティバスやタクシー等の交通機関相互の連携 ・市民の生活行動やニーズに対応した利用しやすい公共交通ネットワークの形成 ・公共交通を将来的に維持(持続可能な交通体系の構築) ・市民・行政・交通事業者の連携による一体的な取り組み ・細づくりの地域を考慮し、各地域の住民生活に必要な公共交通を育む <p>【福津市に公共交通における基本方針】</p> <p>基本方針①:市内各地域の課題やニーズに対応し、地域間格差の是正を促す 公共交通サービスの充実 基本方針②:3つの拠点へのアクセス性向上による市全体の活性化 基本方針③:観光資源との連携による交流人口の拡大 基本方針④:公共交通機関相互の連携による公共交通ネットワークの機能強化 基本方針⑤:多様な主体の連携により、持続可能な体制や仕組みの構築</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今回得られた成果や課題により、今後、地域公共交通網形成計画を作成し、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
鞍手町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域特性と公共交通の現状把握 2. 住民の利用実態やニーズ把握調査 3. 交通事業者ヒアリング調査 4. 鞍手町の公共交通に関する課題整理 5. 地域公共交通網形成計画(案)の作成 6. 協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <p>主な調査として、鞍手中学校中学生アンケート、区長・民生委員アンケート、高齢者アンケート、利用者ヒアリングを行った。</p> <p>本町の公共交通では、中学生と一般住民が混在し、利用しているが、運行形態は中学生の通学に対応したものとなっている。そのため、一般住民が頻繁に利用する時間に便を設けることが出来ず、利用者の減少につながっている。一方で、中学生のバス利用も年々減少傾向にある。</p> <p>今回の調査により、一般利用者からは今の運行経路、運行時刻に不便さを感じていること、中学生からは通学実態として公共交通以外の手段で通学する生徒が多く存在すること、公共交通を利用しない理由を把握することが出来た。</p>	A	<p>【補助対象事業名】</p> <p>鞍手町地域公共交通網形成計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域特性と公共交通の現状把握(平成30年9月実施) 2. 住民の利用実態やニーズ把握調査(平成30年11月～12月実施) 3. 交通事業者ヒアリング調査(平成30年11月実施) 4. 鞍手町の公共交通に関する課題整理(平成30年12月実施) 5. 地域公共交通網形成計画(案)の作成(平成31年1月～2月実施予定) 6. 協議会の開催(平成31年2月実施予定) <p>【調査結果を受けた計画策定の方針】</p> <p>本計画では今回の調査事業により把握した実態を考慮し、一部路線のスクールバス化などを含めた中学生及び一般利用者全体にとって、より効率的な公共交通を整備することを目標の一つとして掲げることとした。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成し、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
築上町地域公共交通会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域特性と公共交通の現状の整理 ・関連計画等や基礎データの整理により公共交通の現状を整理 2. 住民と交流者の移動特性及びニーズ把握調査 ・公共交通機関を洗い出しや、住民アンケート、高校生アンケート、自治会長グループヒアリング等により利用実態の整理やニーズを把握 3. 築上町地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ ・築上町における地域公共交通の目指す将来像の実現に向けた基本方針と目標、実現に向けた施策について検討し、公共交通会議に諮るための計画素案を作成 4. 協議会の開催 ・交通会議(幹事会含む)を4回(H30年末時点)開催 	A	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業名 地域公共交通調査事業(計画策定事業) 2. 事業内容 地域公共交通網形成計画策定 3. 実施時期 平成31年3月 4. 計画策定の方針 住民の移動特性からの課題や公共交通に対する評価からの課題などを十分踏まえ、4つの基本方針、目標、目標を達成するための施策、推進体制など盛り込んだ計画策定を行う 課題等を踏まえ、地域公共交通網形成計画素案を作成し、交通会議で協議をしているところであり平成30年度内に計画策定を行う予定である 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を策定し、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
平戸市愛のり交通活性化委員会	<p>1. 市内公共交通現状把握調査 市の概況の整理。バス停ごとの利用状況調査を実施し、公共施設や病院、通学の公共交通機関の利用時間状況の把握。</p> <p>2. 地域住民のニーズ把握(住民アンケート調査) 住民3,000人(男女各1,500人)を抽出しアンケート実施。 路線バスの利用者で、利用する目的として通院が42.2%で最も多く買物が24.7%で続いている。年代別で見ると高年代ほど通院と買物の比率が高くなり、80代ではほぼ100%であった。</p> <p>3. 交通関連事業者に対するヒアリング調査 路線バス及びタクシー事業者については、慢性的な運転手不足があり、新規事業の取組みに対して困難な状況。また、交通船事業者については、使用船舶の船齢が20年を経過し、修繕費用が多くなってきていることもあり、リプレイスの時期となっている。</p> <p>4. 平戸市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ 各種調査、ヒアリングなどを行い、現況の把握、市民ニーズ、事業者ニーズの把握を行い、現状の問題点及び課題の整理を行った。</p> <p>5. 平戸市愛のり交通活性化委員会開催 愛のり交通活性化委員会を3回、陸上交通部会1回、海上交通部会1回を実施し平戸市地域公共交通網形成計画(案)の策定を行った。</p>	A	<p>①市内外の広域移動を支える幹線系統ネットワークの形成</p> <p>②身近な生活を支える支線系統(コミュニティ交通)ネットワークの形成</p> <p>③離島と平戸島を安全で快適に結ぶ海上交通ネットワークの形成</p> <p>④持続可能な運営のための利用促進策の導入と意識啓発</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成し、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
宇城市地域公共交通活性化協議会	<p>住民アンケート調査により、公共交通への行政負担はやむを得ないものの、今後の利用意向は少ないことがわかった。また、バス利用者(乗り込み調査)により減便及び廃止を検討すべき系統が明らかになった。調査結果を受けて、自動車移動の利便さから一歩踏み出した市民の移動体系を提案できる網計画を策定できる調査ができた。</p>	A	<p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交通空白地等への新たな交通システムの導入 2 路線バス等のサービス水準の平準化(見直し) 3 地域公共交通導入及び運行継続基準の設定(トリガー制度の導入) 4 交通及び生活拠点等における交通結節機能の強化 5 地域公共交通への意識を高める活動(広報誌掲載、キャンペーン、乗り方教室等の継続的な実施) 6 免許返納者をはじめとする高齢者や障がい者を支える地域公共交通網の整備 <p>【主な施策内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後路線バス等公共交通の縮小が考えられる人口減少地域については、事業者と協議の上、乗合タクシー等新規公共交通を導入する。 2 熊本市内を結ぶ交通は、バスJRの役割を明確化し、効率的な運行を行う。また、特に三角地域におけるバス運行サービスを市内他地域と平準化する。 3 今後の乗合タクシー導入や既存路線バス系統の存続検討基準を明確化し、地域の実状と公費投入のバランスを図る。 4 コンパクトシティ化に必要な駅を中心とした公共交通網を形成するとともに、駅、商業施設等主な拠点を交通結節点化することで、利便性の向上を図る。 5 「のり方教室」や「交通ワークショップ」等気軽に公共交通に触れる環境をつくる。商業施設等と連携し、「公共交通」と「日常生活」を近づける工夫をする。斬新なバス利用促進キャンペーンを行う。 <p>上記1～5までの施策により、「75%を自動車に頼る現在の移動体系に少しでも公共交通を浸透させる」ことを目標とする。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成し、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
芦北町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する課題、方針整理 ・芦北町地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種統計資料や平成29年度に実施した住民アンケート調査、交通や鉄道利用者ヒアリング調査、交通事業者ヒアリング等により得た、地域公共交通ニーズや課題を分析し今後の方向性や施策の検討を行った。 ・今後、上記調査結果をもとに交通会議を開催し、関係者との協議、合意形成を経て、網形成計画を策定する。 	A	<p>芦北町の交通政策を総合的に推進するマスタープランとして、計画を策定する。</p> <p>検討においては、上位計画である芦北町総合計画(第2次)等と連携した基本方針のもとに、町中心部での地域交通の確保や既存のコミュニティバス、乗合タクシーの運行見直しやコミュニティバスの有償化、地域公共交通の利活用の促進策等の具体的な事業を定める。</p> <p>これらにより、芦北町に適した持続可能な地域公共交通体系を実現する「芦北町地域公共交通網形成計画」を策定する。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成し、上位計画であるまちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玖珠町における地域特性、公共交通の現状と課題整理 ・住民アンケート調査(住民の移動実態・ニーズ把握) ・公共交通利用者ニーズ調査(町内を運行する路線バス、コミュニティバスの全便乗り込み調査) ・来訪者ヒアリング調査(町内商業施設、観光地等における公共交通利用実態把握) ・事業者ヒアリング調査(玖珠町内を運行するバス事業者、タクシー事業者を対象としたヒアリング) ・住民団体へのグループ調査、交通弱者への戸別訪問調査(移動困窮者の現状把握) ・玖珠町に適した地域公共交通網形成計画の検討・策定 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状整理により、一人暮らしの高齢者など、移動弱者となる可能性の高い方が、郊外部に限らず中心部にも多く存在することが分かった。 ・住民アンケート調査により、町民の移動ニーズと公共交通運行のミスマッチ(目的地に隣接するバス停がない、ふれあい福祉バスの往路・復路間の待ち時間が長い、など)が分かった。 ・公共交通利用者ニーズ調査により、特にふれあい福祉バスや小型乗合バスは固定客中心で、大部分が高齢女性であることがわかった。 ・来訪者ヒアリング調査により、公共交通の利用は、施設へアクセス可能な公共交通網の充実度によることがわかった。 ・事業者ヒアリング調査により、利用実態に応じたルートや運行水準の見直し、インバウンドなど観光客向けの利用促進等が必要であることが分かった。 ・住民団体、交通弱者への調査により、免許非保有者は家族・友人の送迎がないと移動が困難なこと、免許保有者は将来免許を返納した際の移動に不安を感じていることが分かった。 	A	<p>網形成計画の基本方針として、以下の4つを設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用の低迷する路線の運行水準・運行形態の見直し ②住民ニーズに基づく運行ダイヤやバス停、乗り継ぎ等の改善による利便性の向上 ③隣接市町と連携した、地域間路線の維持方策の推進 ④持続可能な公共交通を目指した利用促進策・利用転換策の推進 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成し、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <p>①地域のデータ収集・分析(地域特性の把握、公共交通の運行、収支状況等の把握等)</p> <p>②住民アンケート・利用状況調査・事業者ヒアリング等</p> <p>③地域公共交通網の検討(望ましい公共交通のあり方、基本方針と取組みの方向性の検討、住民主導型輸送の導入可能性の検討)</p> <p>④延岡市地域公共交通網形成計画(案)とりまとめ(計画の目標の検討及び目標達成のために行う事業の検討、計画達成状況の評価方法等の検討)</p> <p>⑤網形成計画策定に係る協議会の開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>①今後の人口減少・高齢社会の進展といった地域の変化に応じた対応の必要性を確認</p> <p>②国・県・市による財政負担の大きさを確認</p> <p>③便平均2.0人未満など、提供サービスに見合った利用が得られていない路線が存在</p> <p>④概ねの市域を公共交通がカバーする一方で、市街地外延部に一部空白地域が存在</p> <p>⑤現行ネットワークの経由地と需要の高い市民の外出先に一部乖離が存在</p> <p>⑥延岡駅-南延岡駅間に同ルート・同時刻に発着する非効率(重複)区間が存在</p> <p>⑦延岡駅において列車⇄路線バスのすれ違い、来訪者の乗り継ぎ機能不足が確認</p> <p>⑧市民が自家用車に依存する実態が確認</p> <p>⑨意向として多く挙がる「市民連携」に対応していくための仕組みの必要性を確認</p> <p>⑩まちづくりと連動するため、観光産業化サポートや、関係者連携の必要性を確認</p>	A	<p>本計画では、中心市街地・地域生活拠点に合わせ、持続可能性を高めるための公共交通ネットワークのスリム化を図るとともに、使う人(市民・来訪者)が必要とするモビリティに合わせたネットワークの最適化を目指します。併せて、サービスの見直しと同時に、多様な関係者と連携した利用促進を進め、市民・来訪者が自家用車へ過度に依存せずに行動できるまちの実現を目指します。</p> <p>●目指す姿 将来に持続可能な市民や来訪者の安心・快適なモビリティの再構築</p> <p>①将来の暮らしを支えるための地域公共交通ネットワークの最適化 ▶都市の基軸となる広域幹線交通及び海上交通の持続的な確保 ▶将来への持続可能性を高める市内ネットワークの転換 ▶定住自立圏・市内生活圏を支える中心市街地機能の充実</p> <p>②市民・来訪者が利用しやすい市内乗り場環境の充実 ▶多様な公共交通が有機的につながる交通結節点の充実 ▶周辺施設・コンビニ等と協力した利用しやすい市内乗り場の充実</p> <p>③将来に必要なモビリティを再認識する利用促進の推進 ▶市民自らが利用しようと思う公共交通利用の意識転換</p> <p>④公共交通の持続可能性を高める多様なパートナーとの連携 ▶持続可能な公共交通を目指す連携事業の機運向上</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今後、今回得られた成果や課題、第三者評価委員会で助言のあった実際の利用者の声を反映することにより、地域公共交通網形成計画を策定されるとともに、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
志布志市地域公共交通活性化会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の地域特性及び公共交通の現状把握 市民の利用実態やニーズ把握調査 将来構想に向けた分析・検討 地域公共交通活性化会議の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種データの分析・整理を行い、今後の高齢化の動向や市民の市町間の流動状況(通勤、買い物及び通学)、外出実態により、旧町ごとの地域の特性が明らかになった。 高校生アンケート(市内2校の高校2年生)、市民アンケート(18歳以上3,000人)、住民座談会(6地区)により、市民の声を聴取した。全体的な傾向は、自家用車への依存が高く、また、路線バスの利用は通学が多いなど、世代での交通機関の利用実態やニーズの把握等を行った。 本市の70歳以上が利用可能な福祉タクシーは、通院、買い物にとどまらず、温泉などの利用も多くなっており、高齢者の外出のきっかけづくりになっていた。 上記の調査結果等より、本市の課題、方向性を整理し、計画案を志布志市地域公共交通活性化会議で検討した。 	A	<p>【補助対象事業名】</p> <p>地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>【事業内容】</p> <p>各種データの収集、分析等本市における地域公共交通のあり方等を検討し、「志布志市地域公共交通網形成計画」の策定を行う。</p> <p>【実施時期】</p> <p>平成30年度末計画策定</p> <p>【計画方針】</p> <p>志布志市における公共交通の現状等を把握し、生活交通の地域別課題や問題を浮き彫りにするとともに、その課題解決に向け、本市のまちづくりの基本となる総合振興計画や都市計画マスタープランなど各種政策との整合性を図りつつ、将来にわたり持続可能な地域公共交通網の形成が図られる計画を策定する。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成し、上位計画であるまちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	
いちき串木野市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 公共交通に関する現況調査 地域住民等のニーズ把握 いちき串木野市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ 協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内公共交通に関する基礎データを整理するとともに、市内を運行するバス等の乗降調査等を実施し、利用状況を把握することができた。 15歳以上の市民へのアンケートにより、利用者のニーズ(目的地、サービスに関する満足度など)を把握することができた。 上記調査の結果を踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築に向けた問題点や課題を整理し、市にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針等を素案として取りまとめた。 地域公共交通会議を開催し公共交通に関する課題の検討を行った。(協議会5回) <p>【今後の予定】</p> <p>パブリックコメントの実施、第6回の協議会を経て、平成31年2月末に地域公共交通網形成計画の策定を行う。</p>	A	<p>いちき串木野市の上位・関連計画や地域・公共交通の課題を踏まえ、次の基本理念のもと、基本方針を5つ定め、持続可能な公共交通体系の確立を目指す。</p> <p>【基本理念】</p> <p>利用者目線に立ったきめ細やかな公共交通サービスの実現</p> <p>【基本方針1】コンパクト・プラス・ネットワークを推進する公共交通網形成を目指す。</p> <p>【基本方針2】様々な移動ニーズに応じたきめ細やかな公共交通サービスの提供を目指す。</p> <p>【基本方針3】利用者目線に立った分かりやすい公共交通サービスの提供を目指す。</p> <p>【基本方針4】地域自らで維持し続けることのできる公共交通システムの構築を目指す。</p> <p>【基本方針5】多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す。</p> <p>【今後予定している補助対象事業】</p> <p>地域公共交通網形成計画に位置づけた事業について、地域公共交通調査事業(計画推進事業)、地域公共交通再編推進事業について検討を行う。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今後、今回得られた成果や課題により、地域公共交通網形成計画を作成し、まちづくりと連携した複数の交通モードによる公共交通ネットワークの構築にしっかりと繋がることを期待します。</p>	